

全国パーキンソン病友の会岩手県支部 令和7年度定期総会

日時：令和7年4月27日（日）10：00～11:30

場所：花巻市文化会館

〒025-0097

花巻市若葉町三丁目 16-22 電話：0198-24-6511

1階 第一会議室

出席者：12名 委任状提出者：32名 計 44名で正会員の過半数で総会が成立しました。

内容：

1. 内容

令和6年度活動報告、令和6年度収支決算報告ならびに会計監査報告、令和7年度活動計画（案）、令和7年度収支予算（案）、会則の変更、役員選任全ての議案について出席者全員の了承をえました。

全国パーキンソン病友の会岩手県支部主催 講演会

日時：令和7年4月27日（日）13：00～16:00

場所：花巻市文化会館 2階中ホールにて、下記、内容で講演会が開催されました。

会員以外にも参加していただくために各市広報に掲載したこともあり、一般参加者30名+当日参加数名と会員を含め45名以上の参加があった。

(1) パーキンソン病と共に生きるために必要なこと

岩手県支部長 端坂則喜

電話で申し込みされた方のほとんどが、パーキンソン病と診断され、主治医に進行性の難病といわれたが、どんな病気かまったくわからず、不安でいっぱいである。「病気のことを知りたい」が主な参加理由であった。

私の体験談を交えながら、簡単にパーキンソン病について説明した。時間の関係で質疑・応答時間が十分にとれなかったが、・現在処方されている薬の効果が感じられない。・パーキンソン病と診断され6年目だが要介護2となった。・主治医にどのように症状を伝えればよいか。など具体的な質問が多く、患者・介護者の戸惑いが感じられた。

(2) リハビリについて

訪問看護ステーション「さくら」作業療法士 小野寺様

以前、盛岡市の脳神経内科クリニックで作業療法士としてパーキンソン病患者のリハビリに携わっていた経験を活かし、現在は訪問看護ステーション「さくら」の作業療法士としてパーキンソン病患者の訪問リハビリに取り組んでいる。クリニックの時とは患者との距離が近く療養生活向上のためのリハビリにポイントを絞り説明していた。プロジェクターで投影された資料を見ながら実際に動作をおこなっている参加者がいた。



(3) バイオリン演奏

高山仁志様

北海道・東北ブロック交流集会でも演奏をお願いした方で自身が難病患者でありリハビリとして主に難病連と連携し、患者団体の集いでバイオリン演奏をおこなっている。音楽で難病患者を元気づけるという意味が感じられ感動する演奏であった。

